

## 国連改革の最前線から：ニューヨーク出張報告

2025年9月4・5日、グローバルヘルス人材戦略センター長はニューヨークを訪問し、国連機関における予算削減および組織再編に関する情報収集と意見交換を行いました。

まず、日本政府国連代表部を訪れ、ODA削減の国際的な流れの中でも日本は現行水準の維持に向けて努力を続けていること、また邦人職員支援に対する外務省の揺るぎない姿勢を伺い、大きな励みとなりました。外務省との連携をさらに強化してまいります。続いて、WHO、UNICEF、UNFPAの各事務所を訪問し、幹部職員との面会に加え、若手職員から現場の声を直接伺う機会を得ました。現在、国連では創設80周年を契機とした「UN80改革」が進行中であり、未曾有の財政危機への対応として、①効率性の向上（経費削減）、②業務の見直し（マネジメント整理）、③構造改革とプログラム再編（組織の統合・再編）が推進されています。

2026年度の国連通常予算案では、2025年比で15.1%の予算削減、18.8%のポスト削減が提案されており、総会で議論が続いています。グローバルヘルス分野では、コロナ対応による一時的な予算拡大の反動もあり、UNICEF保健部門は約3割の人員削減とナイロビへの移転、UNFPAは本部自体をナイロビに移すことで、現場に近い拠点からの支援継続を図っています。WHOは独立予算を持つものの、さらに厳しい削減が進行中であり、現在ほとんどの機関で外部からの新規採用は停止、内部候補者限定の募集に留まっています。JPO派遣

については、外務省の尽力により予算は確保されているが、円安の影響で派遣人数の減少は避けられず、人材戦略にも影響が及んでいます。

こうした状況を踏まえ、センターでは現職員のリテンション支援や内部昇進支援を強化することとし、厚生労働省・外務省との連携のもと、アドバイザー会議の助言を得ながら活動を企画してまいります。若手職員との意見交換では、雇用不安やキャリア維持への支援ニーズが顕在化し、Leave Without Pay制度やメンタリング制度への関心が高いことが確認されました。人材センターとしては、制度的アドボカシーの強化、ジョブフェアの開催、メンタリングによる昇進支援、さらには将来の雇用回復を見据えた先行投資型研修の実施など、具体的な取り組みを本年度後半に集中して展開していく予定です。

国連改革の進展に伴い、邦人職員の活躍の道は大きく変化しています。制度面・情報面の両側から支援を強化し、次世代の国際人材育成に貢献してまいります。



## 新ページ「国内機関で働く」開設のお知らせ

グローバルヘルスに関する仕事は国内にもあります。グローバルヘルス人材戦略センターでは、ホームページ上で「国際機関で働く」に加え「国内機関で働く」

ページ (<https://hrc-gh.ncgm.go.jp/job-ja/>) を設置し、掲示板形式で公募情報を掲載することにしました。

掲載は毎月初営業日に更新します。掲載希望の機関・団体におかれましては前月25日までに募集情報をご提供ください。今後も、皆様のキャリア支援に資する情報発信を強化してまいります。



グローバルヘルス人材戦略センター公式 web サイト

## ■ 人材登録のお願い

9月25日現在、1,007名の方が人材登録・検索システムに登録されており、ご希望に応じた空席情報がマッチング・メールで配信されるほか、研究会などの各種情報が届くようになっています。人材登録・検索システムの使い方に関する動画も登録ページに掲載しています。未登録の方は登録されますようお願いいたします。

<https://hrc-gh-system.ncgm.go.jp/>



## Save the Date (今後の活動予定)

グローバルヘルス人材戦略センターでは、国際機関における新規募集の減少と職員の調整の加速傾向を踏まえ、各種研修内容の大幅な変更を企画しています。即ち現在活躍中の方を念頭とした、不確実な環境でも自分の価値を再構築し、キャリアを守り・育てる力を養う「リテンション」セミナーを行います。その上で内部昇進を目指す方にはメンタリングの機会をアレンジいたします。従前から行っているGoUNセミナーについては、これからの邦人職員候補のパイプラインを閉ざさないためにも継続するとともに、そこで滋養される面接スキルなどはキャリアアップにも有効ですから現職の方にも役立つようアップデートします。これらのイベントの詳細は概ね1ヶ月の応募期間を設けて、当センターHPや人材登録者等への個別メールなどでお知らせしますので、皆様の積極的なご参加をお待ちしています。センターは今後も、邦人職員のキャリア継続と発展を力強く支援してまいります。

開催日程	イベント内容
11月中旬・12月上旬	ジョブ・フェア (2回開催)
11月上旬・下旬	リテンションセミナー (2回開催)
12月13日 (決定)	GoUN ワークショップ (国連機関応募者向け)
12月14日 (決定)	WHO 職員による個別相談会
2026年1月以降	メンタリングプログラム開始

日程・内容については都合により変わることがあります。